

地域ごとのまちづくり計画（案）

「ホタルやトンボ、小鳥が飛びかう ところ豊かなまち にしやま」



宝塚市西山まちづくり協議会（コミュニティ西山）

令和2(2020)年 3月策定

もくじ

【はじめに】	1
【現状と課題】	2
【 ^{まち} 地域の将来像】	12
【基本目標】	13
【具体的な取り組み】スケジュールと役割分担総括表	24
【あとがき】	30

宝塚市西山まちづくり協議会（コミュニティ西山）

(2020年3月改定)

【はじめに】

西山まちづくり計画をお届けします。私たちの宝塚市西山まちづくり協議会（通称「コミュニティ西山」）は、平成5（1993）年12月4日に立ち上げられました。中山台に続き、市内2番目のまちづくり協議会になります。

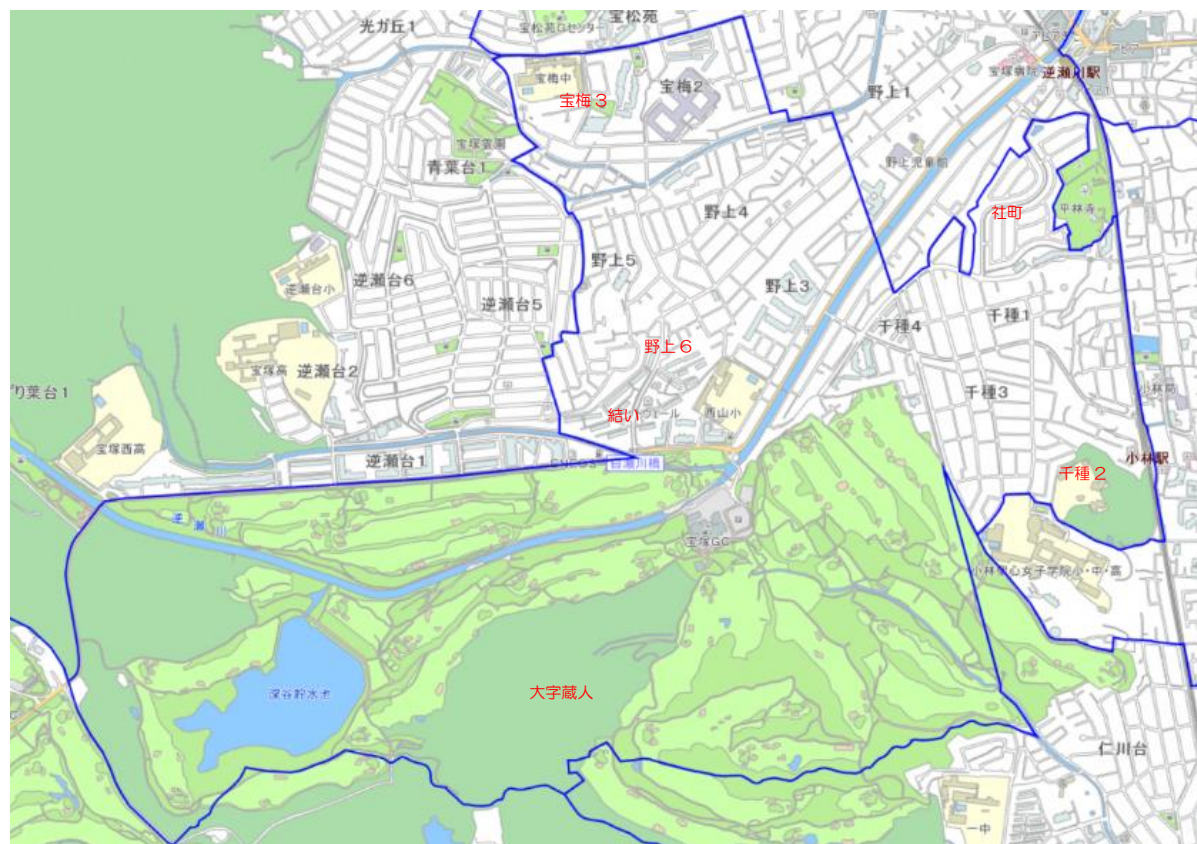
前回平成17（2005）年3月に前計画を策定してから10数年が経過しました。高齢化や防災、環境保全など、様々な社会の動きがありますが、私たちもこの時代に沿って、新たな歩み始める時期にきていると感じます。

このたび、社会の変化に対応して、わたしたちのまちのありかたや今後の住民活動の指針となる、「西山まちづくり計画」を改定することにしました。

図 1-1 西山地域の位置

西山地域(市立西山小学校区)は、六甲山の東端山麓部にあたり、西南部から東北方向に流れる逆瀬川を中心とした扇状地の上に広がっています。南西部はほぼ宝塚ゴルフ倶楽部の敷地にあたります。住居表示は以下のとおりです。

(大字蔵人、宝梅2丁目～3丁目、野上3丁目～6丁目、千種1丁目～4丁目、社町(4番(宝塚第一小学校区を除く)、5番～20番。)



【現状と課題】

1. わがまちの概要

1-1. 人口 最近のデータ

①人口推移

西山地域の人口は、2019年2月末現在11,294人となっています。1999年12月末の人口9,148人からみて、20年で23.5ポイントの増加です。近年、グラウンド跡地の住宅開発やマンション開発、さらに戸建て住宅の細分化などもあり、増加傾向にありましたが、2018年からは微減の状況にあります。年少人口は新たな住宅開発地では多く、高齢者人口は少ないなど、地区によって偏りがみられます。なお、2019年3月末現在の外国人数は93名で全人口の0.83%にあたります。

表 1-1 人口・世帯構成 単位:人

地区名	面積(畝)	2019年2月末現在				2009年1月末現在			
		世帯数	人口	男性	女性	世帯数	人口	男性	女性
千種1丁目	10.8	429	1,083	518	565	384	979	465	514
千種2丁目	10.2	214	469	209	260	197	437	198	239
千種3丁目	8.9	312	752	343	409	296	730	326	404
千種4丁目	11.2	354	859	404	455	340	859	390	469
野上3丁目	10.5	617	1,644	752	892	389	944	417	527
野上4丁目	12.2	533	1,229	540	689	507	1,175	495	680
野上5丁目	8.0	332	854	415	439	297	761	360	401
野上6丁目	13.8	886	1,608	724	884	857	1,753	797	956
宝梅2丁目	14.7	714	1,478	636	842	528	1,216	527	689
宝梅3丁目	6.7	144	369	177	192	138	371	185	186
社町	11.8	329	949	442	507	298	877	411	466
	118.8	4,864	11,294	5,160	6,134	4,231	10,102	4,571	5,531

表 1-2 年少人口比率及び高齢化率

2018年3月末日現在 住民基本台帳

	年少人口 (0～14歳)	年少人口比率	高齢者人口 (65歳～)	高齢化率
ア 千種1丁目	211	19.1%	245	22.2%
イ 千種2丁目	66	14.3%	125	27.0%
ウ 千種3丁目	85	11.3%	262	34.9%
エ 千種4丁目	95	11.3%	263	31.3%
オ 野上3丁目	398	23.9%	303	18.2%
カ 野上4丁目	160	13.0%	371	30.2%
キ 野上5丁目	153	17.6%	225	25.9%
ク 野上6丁目	162	9.8%	704	42.8%
ケ 宝梅2丁目	172	11.7%	587	39.9%
コ 宝梅3丁目	49	13.3%	86	23.4%
サ 社町※	182	19.3%	143	15.2%
A 西山まち協全体	1,723	15.30%	3,277	29.11%
B 全市	31,298	13.36%	63,455	27.09%

1-2. 西山小学校区の主な施設など（西山小学校区安全安心魅力マップなどから）

●宝塚聖天（正式名：七宝山了徳密院：しっぽうざんりょうとくみついでん）：宝梅3丁目4-48

大阪浦江の福島聖天了徳院の別院として大正8年、日下義禅（くさかぎぜん）大和尚（元真言宗東寺派管長）によって、建立されました。

1995（平成7）年の阪神大震災で本堂以下、ほとんどの建物や石碑が壊滅状態となりましたが、1999（平成11）年に復興を終えることができ、現在に至っています。ゼロ戦の実物大模型でも知られていますが、これは第2次世界大戦時代の特攻隊の人々をまつるものです。



●市立宝梅中学校（ほうばいちゅうがっこう）：宝梅3丁目4-20

宝梅中学校は、宝塚市の人口の急増に対応するものとして、1961（昭和36）年4月1日、宝塚第1中学校から分かれる形で開校しました。校歌の中にも「園に床し白梅の（そのにゆかししらうめの）」「宝の塚のゆかりにも」といった表現が残っています。宝梅園（みかん畑や梅林があった牧場。現在はありませぬ）と宝の塚は地域のシンボリックな存在だったことがみてとれます。のち1988（昭和63）年、この宝梅中学校から光ガ丘中学校が分離して開校しています。

●宝の塚（私立宝梅中学校内正門横）：宝梅3丁目4-20

宝塚市のいわれになったともいえる宝の塚は、現在、市内に2箇所あります。御殿山と宝梅です。昔、宝を隠していたという話があります。この塚は、かつて宝梅園の一角、現在の宝梅中学校南側のグラウンド付近に位置していました。1962（昭和37）年、宝梅中学校の建設の際に移転され、現在はその中心部のみが宝梅中学校の正門の横にあります。



●仁川学院藤飯治平（ふじいじへい）記念館：野上4丁目10-1

仁川学院で美術の教鞭をとっていた画家、藤飯治平さんの自宅兼アトリエを、仁川学院が引き継いで、2013（平成25）年7月から公開されているものです。作品をゆったりと見学することができます。開館日は土曜日、日曜日の10:00～16:00です。駐車場はありません。

●私立野上幼稚園（のがみようちえん）：野上5丁目5-30

野上幼稚園は私立の幼稚園で、野上5丁目と逆瀬台との境目にあり、1975（昭和50）年の創立です。「子育てを楽しみ、子育てをとおして成長するご家族のための幼稚園」をモットーに、3年保育を実践しています。登降園は「お母さんと手をつないで」を原則としていますが、現在は遠方から来る方も多くなり、2004（平成16）年1月から、降園のためのバスが走るようになりました。

●市立西山小学校：野上6丁目2-1

西山小学校は、昔は宝塚市立第一中学校でした。第一中学校は1950（昭和25）年にこの地に立地、のち1968（昭和43）年に第一中学校が仁川うぐいす台に移転し、西山小学校となりました。そのころは中学生と小学生と一緒に学習したこともあったそうです。1995（平成7）年の阪神淡路大震災の折には、緊急の避難所として活用されていました。

また、校庭が広いことから、少年野球やサッカーの試合によく利用されています。校歌にはポプラの枝がでてきますが、現在はその多くが切られており、面影はほとんど残っていません。



●市立西山幼稚園（にしやまようちえん）：野上6丁目2-2

宝塚市立西山幼稚園は、西山小学校と敷地が一体となった形で、1969（昭和44）年4月に開園しました。1992（平成4）年から、2年保育が実施されました。「心豊かにたくましく生きる子ども」を教育目標とし、一人一人が自分らしく自信をもって生活できるように体験を重視した保育を展開しています。毎朝10時まで地域の未就園児親子を対象に「あかねちゃんタイム」を実施しています。

●(株)松田ポンプ製作所：野上2丁目6-14

松田ポンプは野上2丁目にあり、ケミカルポンプの専門メーカーとして知られています。1945（昭和20）年6月に大阪の工場が戦災にあったことから、逆瀬川沿いの現在の地に移転してこられました。初代社長の松田栄治郎さんは、宝南自治会の会長もされていました。

阪神淡路大震災の際は、工場の外で水道を24時間流していただきました。また、工場であることから、車の出入りもあり、周辺住宅地に対してとても気を使っておられます。

●私立野上あゆみ保育園・野上児童館：野上2丁目3-38

2008（平成20）年11月、開設されました。野上あゆみ保育園では、キリスト教保育、異年齢保育、統合保育、食育などを特色としており、「のがみっこくらぶ」という学童保育も実施されています。野上児童館では、0歳から18歳までの子どもを対象とし、乳幼児プログラム、小学生タイムなどを実施しています。2019年1月現在、ウエル西山で毎週月曜日10:30～13:00、出前児童館を開いていただいています。

●宝塚ゴルフ倶楽部（くらぶ）：蔵人字深谷1391-1

宝塚ゴルフ倶楽部は、1926（大正15）年8月7日、宝塚倶楽部の一部門として開設されたゴルフ場です。かつて、競馬場の敷地になりそうな時期もありました。周辺は住宅地となって現在に至っています。昔（昭和30年：1965年代）は周囲の網から子どもたちが入り込んで遊ぶなど、のんびりした雰囲気だったそうです。甘香塚(かんこうづか)という昔果樹園だった頃の記念碑もあります。阪神淡路大震災の際は、お風呂を提供していただきました（延べ1万人利用）。

●逆瀬川

武庫川水系の支流であり、六甲山の東の山麓部を東北方向に、扇状地を形成して、武庫川にそそいでいます。延長約6キロ、流域面積約5.4平方キロ、かつては水害も多かったことから、いち早く河川改修が進み、兵庫県砂防事業の発祥の地になっています。明治時代は川幅が最大200m以上もありましたが、現在は20mほどになっています。西山地域においては、



宝塚ゴルフクラブの中や野上地域と千種地域の間を流れ、赤とんぼミヤマアカネやホタルが飛ぶことでも知られています。

●ホタルの里ピカピカランド：千種4丁目15

西山小学校校区の西側、逆瀬川沿いの内畑緑地公園内にあります。1992（平成4）年9月に、宝塚市・宝塚ゴルフクラブ・宝塚ライオンズクラブの協力のもと開設されました。逆瀬川から水を引き込み、ホタルの幼虫やホタルのエサになるカワニナも繁殖しています。毎年5月末から6月中旬にかけて、ホタルを見ることができます。2018年現在、宝塚エコネットのみなさんが黒い網を設置して車のライトを防いだり、西山小学校などの環境学習の授業をされています。



●平林寺（平林寺のしおりから抜粋）：社町4丁目7

平林寺は、約1400年前、淳和（じゅんな）年間（824年～）に、第三十一代用明天皇の命により、聖徳太子が創建されたお寺で、中山寺と相前後したものと寺伝は伝えています。飛鳥時代に、大和朝廷を経済的、政治的にも支えた摂津の国（現在の大阪府北半分と兵庫県南東部）の武庫川右岸に壮麗な大伽藍が作られ、信仰の聖地だったのです。

千年前には花山天皇が定められた摂津国三十三所の観音霊場の第二番札所になるなど、古代から現在まで、人の心に安らぎを与えてきました。



●宝塚神社：社町4丁目8

宝塚神社ができたのは、隣接する平林寺とほぼ同じ時期、平安時代、承和（じょうわ）年間（834年～）です。氏子（うじこ）の区域は、千種、野上、宝梅、寿楽荘、ゆずり葉、など、昔の小林村の一带です。農耕の神様の素盞鳴（すさのお）神社、山の神様の日吉神社をまつっています。昭和40（1965）年、合併して宝塚神社となりました。このあたりは農村地帯で、岩倉山を信仰対象とした山岳信仰のなごりであったとのことです。北側鳥居そばの石灯籠の基盤に、数か所ある丸いへこみは、江戸時代、天明（てんめい）の飢饉（天明2年から7年：1782～1787年）の際に、飢饉で苦しむ人々が石をこすり合わせて祈った記録とのことです。



●私立小林（おばやし）聖心女子学院：塔の町3-113

小林聖心女子学院は、1926（大正15）年12月、当時の武庫郡良元村小林字ハゼリの地（現在は宝塚市塔の町）に立地しました。関東大震災（1922年）によって東京の聖心会が被害を受けたことによります。キリスト教の精神にもとづく教育を



実践する聖心女子学院の存在は、地域の雰囲気をも高めるものといえるでしょう。また、小林にある「バラホーム保育所」は、「小林みこころ会」(卒業生の会)が中心となって、1953(昭和 28)年 2 月 2 日、現在の地に立地しました。バラホームという名称は、聖心会の創始者である聖マグダレナ・ソフィア・バラ(1779-1865 年)の名前からとったものです。

1-3 わがまちへの思い

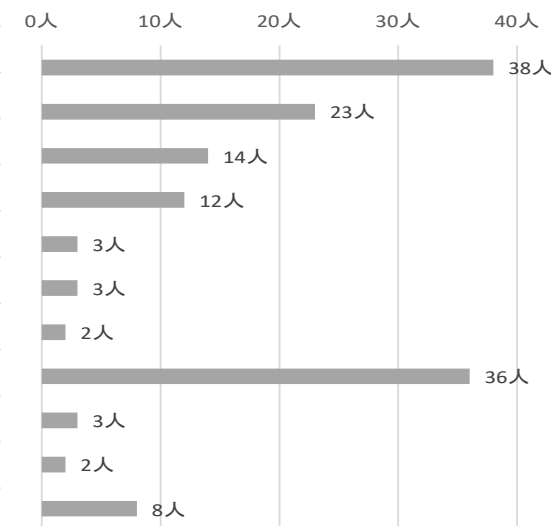
1. アンケート調査の概要と結果 (概要)

西山まちづくり計画策定委員会、各自治会役員会、西山小学校 PTA 常任委員会において、アンケートを実施しました。

- ・回答者数：144 名
- ・配布先：西山まちづくり計画策定委員会、各自治会、西山小学校 PTA
- ・実施日：平成 30(2018)年 6 月 24 日～11 月 25 日
- ・回答者について

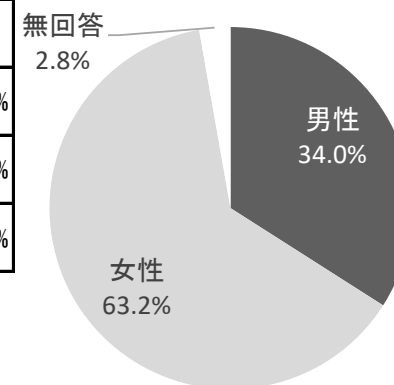
○所属自治会

	回答数	%
1 宝南自治会	38人	26.4%
2 宝梅自治会	23人	16.0%
3 千種ヶ丘自治会	14人	9.7%
4 千種自治会	12人	8.3%
5 逆瀬川団地自治会	3人	2.1%
6 逆瀬川ハイツ自治会	3人	2.1%
7 パレ逆瀬川マスタープレイス自治会	2人	1.4%
8 コモンステージ逆瀬川自治会	36人	25.0%
9 自治会に加入していない	3人	2.1%
10 分からない	2人	1.4%
無回答	8人	5.6%



○性別

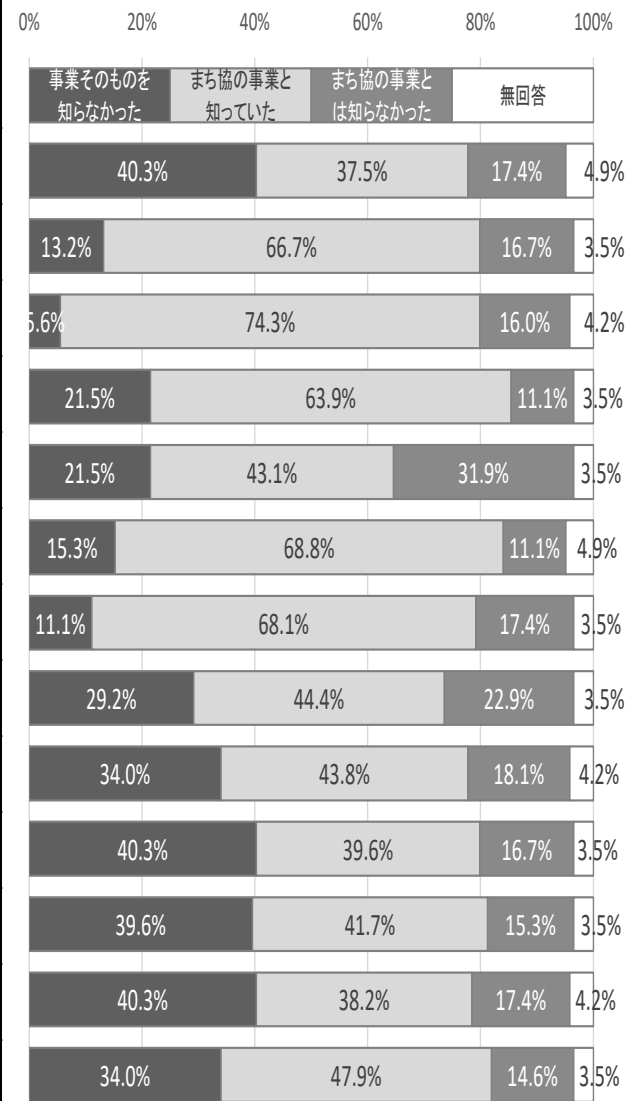
	回答数	%
1 男性	49	34.0%
2 女性	91	63.2%
無回答	4	2.8%



Q1 宝塚市西山まちづくり協議会(まち協、通称:コミュニティ西山)の活動の認知度

まち協の事業として知られているものは、ふれあい西山まつり 74.3%、ふれあいバスツアー68.8%、わいわいフェスティバル68.1%などでした。ドリーム西山(歌の会)、出前運動講座、簡単ストレッチなどは事業そのものを知らなかったという回答も 40%前後ありました。

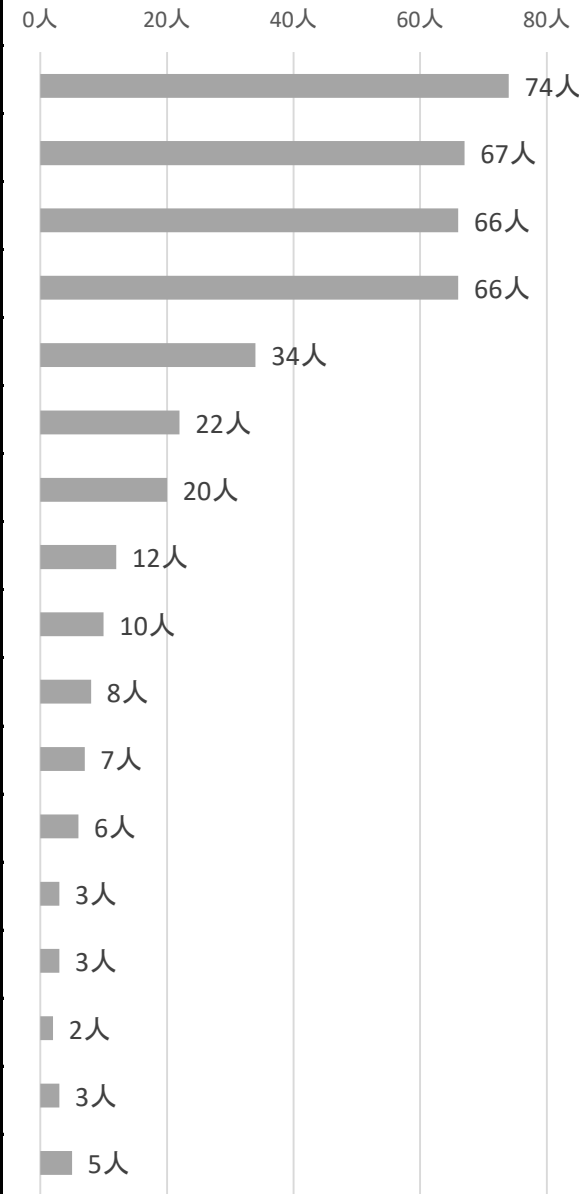
	知事 ら業 なそ かの つも たの を	知ま つち て協 いの た事 業と	はま 知ら ち協 ら協 なの か事 つ業 たと	無 回 答
1 創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会	58人	54人	25人	7人
2 ウエル西山(集会所)の運営	19人	96人	24人	5人
3 ふれあい西山まつり(西山小学校主催に共催で参加)	8人	107人	23人	6人
4 遊歩野会(ハイキング:毎月1回)	31人	92人	16人	5人
5 聖天さん盆踊りの協力(8月)	31人	62人	46人	5人
6 ふれあいバスツアー(毎年6~7月)	22人	99人	16人	7人
7 わいわいフェスティバル(3月に実施:西山小学校)	16人	98人	25人	5人
8 ニューイヤーコンサート(毎年1月:西公民館)	42人	64人	33人	5人
9 西山倶楽部(毎月1回:宝会館)	49人	63人	26人	6人
10 ドリーム西山(歌の会。ウエル西山)	58人	57人	24人	5人
11 出前運動講座(毎週火曜日。10時~、11時15分~。ウエル西山)	57人	60人	22人	5人
12 簡単ストレッチ(毎週水曜日。9時50分~、11時~:宝会館)	58人	55人	25人	6人
13 運営委員会(毎月1回第2水曜日10時~)	49人	69人	21人	5人



Q2 これからの西山小学校区のまちづくりで、特に重要と思われるもの(複数回答)

これからの西山小学校区のまちづくりで特に重要と思われるものについては、安全な歩行者空間の確保・交通安全対策が51.4%で第1位、続いて防犯などの治安対策46.5%、震災・水害・火災などに対する防災対策45.8%、こどもの安全の確保・子育て支援45.8%という結果になりました。

	回答数	%
1 安全な歩行者空間の確保・交通安全対策	74人	51.4%
2 防犯などの治安対策	67人	46.5%
3 震災、水害、火災などに対する防災対策	66人	45.8%
4 こどもの安全の確保・子育て支援	66人	45.8%
5 高齢者や障害者が安心して住める住環境整備	34人	23.6%
6 子どもから高齢者まで多世代の交流活動	22人	15.3%
7 身近な公園や緑地の整備・花植えなど美化活動	20人	13.9%
8 川、緑地など自然環境の保全・創出	12人	8.3%
9 住宅開発などにあたってのルールづくり	10人	6.9%
10 まつりやイベントの充実	8人	5.6%
11 リサイクルや省エネルギーなど環境問題への取り組み	7人	4.9%
12 歴史や文化の再発見	6人	4.2%
13 騒音、振動などに対する環境対策	3人	2.1%
14 商店街やお店などの整備	3人	2.1%
15 NPO、ボランティアなどのまちづくり活動	2人	1.4%
16 その他	3人	2.1%
無回答	5人	3.5%
全体	144人	100.0%

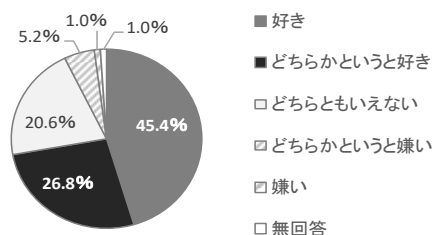


2. こどもたちの思い アンケート(抜粋)

- ・回答者数：西山小学校 6 年生児童 有効回答数 97 件
- ・実施日：令和元(2019)年 6 月

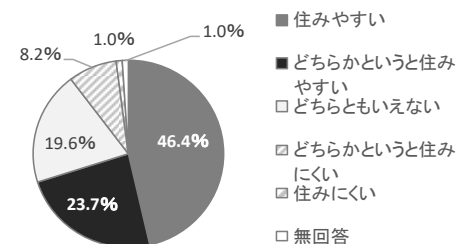
Q1 西山小学校区が好きですか？

「好き」と「どちらかという好き」を合わせると 72.2%となり、多くの子どもたちが、西山小学校区に好感を持っていると思われます。



Q2 西山小学校区は住みやすいですか？

「住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると 70.1%となり、西山小学校区を住みやすいと感じている子どもが多いことがうかがえます。



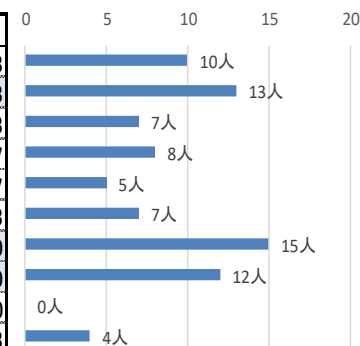
Q3 大人になっても西山小学校区に住みたいですか？

「どちらともいえない」が 43.3%で一番多く、「住みたい」「どちらかという住みたい」を合わせると 30.9%、「住みたくない」「どちらかという住みたくない」を合わせると 25.8%であり、居留意向としては判断が分かれる結果となりました。

Q4 住み続けたい理由(複数回答)

住み続けたい理由は「このまちが好きだから」15 件、「電車やバスが便利だから」13 件、「生まれ育ったまちだから」12 件の順番となりました。

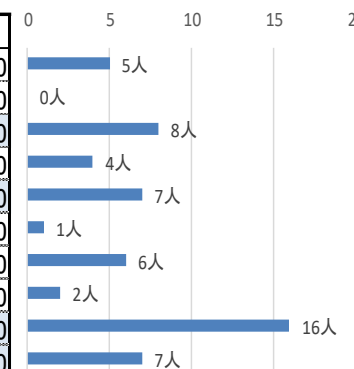
	回答数	%
1 買い物などが便利だから	10	33.3
2 電車やバスが便利だから	13	43.3
3 自然がたくさんあるから	7	23.3
4 今、住んでいるから	8	26.7
5 将来いいまちになりそうだから	5	16.7
6 友だちが住んでいるから	7	23.3
7 このまちが好きだから	15	50.0
8 生まれ育ったまちだから	12	40.0
9 他に住みたいまちがないから	0	0.0
10 その他	4	13.3
無回答	0	0.0
全体	30	100.0



Q5 住み続けたくない理由(複数回答)

住み続けたくない理由は、「他に住みたいまちがあるから」が16件で一番多く、続いて「危険な道があるから」8件、「働く場所がないから」7件となりました。

	回答数	%
1 買い物などが不便だから	5	20.0
2 電車やバスが不便だから	0	0.0
3 危険な道があるから	8	32.0
4 自然が少ないから	4	16.0
5 働く場所がないから	7	28.0
6 将来いいまちになりそうにないから	1	4.0
7 遊ぶ場所が少ないから	6	24.0
8 このまちが好きでないから	2	8.0
9 他に住みたいまちがあるから	16	64.0
10 その他	7	28.0
無回答	0	0.0



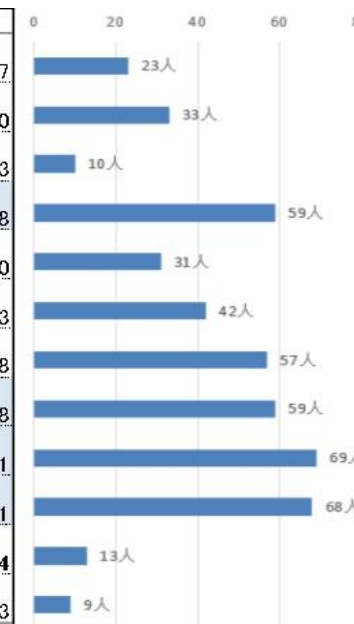
Q6 将来どんなまちになったらいいと思いますか？

「子どもが元気に遊べる場所がたくさんあるまち」、「事件や事故、災害が少ない安全なまち」「自然やみどりが多いまち」「お年寄りや体の不自由な人にやさしいまち」などが上位を占めました。安全安心や自然環境、福祉の観点を大切にしようという意識がみられます。

【その他】(抜粋)

・観光客がたくさん来るまち。他の地域の人たちが一度は行ってみたいと思えるような絶景があるまち。将来老人だらけの町にならない為にも、子どもが遊べる広場や公園を作ったらいいと思う。自然の多い中で、子どもが元気に育てほしいから。コンビニやスーパーを近くに作ってほしいです、人が降りるのはけっこう大変だから。レジャー施設などがたくさんありすぎると、せっかくのホテルや桜並木が壊れてしまうので、少しの方が良いです。みんなが楽しく元気に暮らせる町。安全がほしいから、あと楽しみもほしいから。いつ、どこで、誰が何をしているか分かる防犯カメラの多いまち。育成会、保育園があって、親のみなさんが安心するまち。昆虫館がある街！。全体的に今より良い所になったらいい。みんなが気持ちよく過ごせる町。税金が少ない町

	回答数	%
1 文化・芸術がたくさんあるまち	23	23.7
2 お店やレジャー施設などがあるにぎやかなまち	33	34.0
3 企業や工場などの働く場所がたくさんあるまち	10	10.3
4 自然やみどりが多いまち	59	60.8
5 図書館などの学べる場所が充実したまち	31	32.0
6 様々なスポーツが楽しめるまち	42	43.3
7 病気になった時でも安心して暮らせる病院などが充実したまち	57	58.8
8 お年寄りや体の不自由な人にやさしいまち	59	60.8
9 子どもが元気に遊べる場所がたくさんあるまち	69	71.1
10 事件や事故、災害が少ない安全なまち	68	70.1
11 その他	13	13.4
無回答	9	9.3
全体	97	100.0



【^{まち}地域の将来像】

わたしたちの住む西山小学校区は、武庫川の支流である逆瀬川の両岸に広がる丘陵地（扇状地）に位置しており、緑も豊かで静かな住宅地が続いています。逆瀬川にはホタルやミヤマアカネという赤トンボが飛びかい、ウグイスやセキレイ、メジロなどの小鳥も生息するなど、自然に恵まれた地域であるといえます。地域の良さとして、まちづくり計画策定委員会やアンケートでは「親切な人が多い」「ご近所づきあいが広い」など、人の心の豊かさを指摘する声も多く聞かれました。この20年ほどの間に、グラウンド跡地や戸建て住宅の細分化などによる住宅開発が進み、人口も2000人以上増えました。一方で高齢化も課題となり、防災・防犯や交通安全、子どもの安全や子育て支援、隣近所の助け合いなどがより一層求められてきています。坂道が多いことから、日常の移動や通学などに苦労もありますが、坂が多いことを健康増進につなげる「楽あれば苦もあるさ」という前向きな評価も大切にしていきたいものです。

恵まれた自然環境を守りながら、新しい人を受け入れつつ、住民同士のふれあいを強め、楽しく明るい、ずっと住みたいまちを次世代に残していくことが求められていると思います。

以上のような背景をもとに、本計画では、前回計画のキャッチフレーズの一部もいかして、まちの将来像として、

「ホタルやトンボ、小鳥が飛びかう ところ豊かなまち にしやま」

とします。そして、まちづくりの分野を以下の7項目に分け、住民・行政・企業が協働でまちづくりの課題に取り組んでいきます。

■将来像について

- ・住民アンケート・子どもたちのアンケートで重視する意見：交通安全、防犯、防災など安心して暮らせる環境、子どもの安全、子育て支援など。
- ・西山まちづくり計画策定委員会のワークショップにおける全体的な目標・理想：「新しい人を受け入れられるまち」「ずっと住みたい(住み続けたい)まち」「楽しくて明るいまち」など。
- ・人口増への対応：1999(平成11)年12月末の人口9,148人に対して、2019(平成31)年2月末人口11,294人と、20%以上の人口増があった。新たな入居者の方々を含む、住民同士の連携も課題。

■西山地域の特徴

- ・逆瀬川(兵庫県砂防事業発祥の地。歴史的な石積み護岸、河川敷に降りることができる親しみのある川。赤とんぼミヤマアカネの兵庫県で最大の生息地、西山小学校ではミヤマアカネの学習を15年以上も継続。ホタルの里ピカピカランド、両側の低層住宅地の景観、甲山を背景とした景観)
- ・良好な住宅地、静かな住宅地、落ち着いている、のどか(第1種低層住居専用地域。緑も多い。地区計画も3地域あり)。川や緑、適度な自然が残っている
- ・宝塚ゴルフ倶楽部、・私立聖心女子学院、宝塚聖天、平林寺、宝塚神社、宝の塚(宝梅中学校内)、仁川学院藤飯治平(ふじいじへい)記念館
- ・松田ポンプ製作所(地域に隣接。ケミカルポンプのメーカー)
- ・人(優しい親切な住民、ご近所づきあいが広い)

【基本目標】

(1) 安全安心のまちづくり 「災害時死者ゼロをめざした減災の取り組みと、日常の安全の確保を進めます。」

① 防災

【課題】

地域の西側には南北に断層が通っています。南海トラフ地震や山崎断層などによる地震の危険性や、近年の水害にみられるように、災害の危険性は高まっています。各自治会とコミュニティ西山で避難訓練、防災訓練も実施されるなど活動は広がっています。より一層の取り組みが必要です。地域にはブロック塀も多く残り、対応が必要です。

【方針】

自治会、コミュニティ、民生委員・児童委員などが協力して日常の見守り体制を強め、災害が起きても死者を出さないよう、災害の被害を最低限にとどめる「減災」の取り組みをすすめます。防災訓練や避難所開設訓練を継続し、充実させます。宝塚市によるブロック塀補助が2018年度から開始されており、活用を促進させます。要援護者対策として、民生委員・児童委員、宝塚市社会福祉協議会、逆瀬川地域包括支援センターとの協力のもと、ご近所における見守り体制の強化を目指します。火災予防の啓発も継続します。地域防災計画の策定を検討します。



防災訓練の様子



各地にある防災倉庫



②防犯

【課題】

西山地域の犯罪は少ないです。日常的な声かけは効果が高いといわれており、関係機関とも連携しつつ、声かけを促進しています。パトロールも各自治会で実施されています。空き家が増えていることから、対策が必要となっています。

【方針】

地域に関わる3つの交番とも連携し、日常的な声かけ、パトロールを継続させます。特殊詐欺に関する学習会や、空き家の不安解消のための関係機関への紹介など、生活を脅かすことが無いようにしていきます。夜間の安全性向上のため、門灯点灯運動を継続します。

西山交番前で情報交換



③交通安全

【課題】

人口が増えてきたことなどにより、周辺の交通量も増えていると考えられます。近年は自転車事故も増えています。交差点の改良は市役所と協力して徐々に進んでいます。西山小学校登下校時の見守りも実施されています。2018年5月7日から、なかよし橋地点、主要地方道宝塚神戸明石線からの車両進入禁止が実施されました。西山小学校付近の通行規制も実施されています。荒地西山線の事業も小林工区は2022年度には完成予定ですが、災害時緊急避難路としての役割もあることから、宝塚ゴルフクラブまでの早期完成が望まれます(2019年3月、コミュニティ西山から荒地西山線促進の要望書を市役所に提出)。地域の危険な交差点はまだ存在していることから、定期的に点検する必要があります。

【方針】

安全な歩行者空間確保の観点から、自動車・自転車の速度を落とす工夫、ガードレール、カーブミラー、一方通行など、市役所、警察とも連携して危険個所の確認と対策を実施します。学校園、PTA、自治会や安心安全部会で協力し、登下校時の見守りを充実させます。



わいわいフェスティバル
で交通安全教室



宝梅サンシティから
下りてくる三叉路

都市計画道路 荒地西山線・県道(主)明石神戸宝塚線 状況図



(2) 健康推進のまちづくり「誰もが生き生きと暮らせるよう、日常的な健康推進の取り組みを進めます。」

① スポーツ・健康

【課題】

健康増進・維持に関する取り組みは、スポーツクラブ21西山の活動として、遊歩野会、ニュースポーツ、スナッグゴルフなどが実施されています。出前運動講座、簡単ストレッチ、自治会におけるラジオ体操、百歳体操など、多様に実施されています。

子ども達も健康推進員、PTAや有志の方の支援により、野球、サッカー、スナッグゴルフなどのクラブ活動をしています。

今後は担当者や参加者の高齢化に対応して、若い世代の参加促進も必要です。高齢化が進み、健康維持のための取り組みは必要性を増すと考えられることから、医者にかかる人も増えており、情報を共有して効果的な健康増進活動を進めていく必要があります。

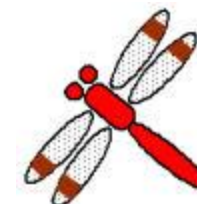
【方針】

多様な人々が、様々な健康維持の活動を楽しみながらできるよう、取り組みの維持と充実に努めていきます。

スポーツクラブ21西山の活動を継続させます。ラジオ体操、出前運動講座、簡単ストレッチなどの様々な健康維持の取り組みを継続させます。小学校のクラブ活動を応援します。関係機関との連携のもと、宝塚生活ガイドブックなどを活用して、病院情報・救急情報・福祉サービス情報の情報共有に努めます。



遊歩野会（ゆうほのかい）の様子



赤トンボミヤマアカネのイラスト

(3) 環境保全のまちづくり「逆瀬川の自然や住宅地の自然を守り育てる取り組みを進めます。」

① 逆瀬川などに親しむ取り組み

【課題】

逆瀬川は兵庫県砂防事業の発祥の地であり、河川敷に降りることができる親しみやすい川です。西山小学校、宝塚市役所、環境関連団体による、ミヤマアカネ、ホタル、外来生物除去などの取り組みがあります。逆瀬川の自然を守る会の清掃活動も30年以上継続され、ホタルの生育を支援するピカピカランドもあり、宝塚エコネットのみなさんがお世話をしています。以前は8年間にわたりミヤマアカネまつりも実施されました。

このような地域のシンボルともいえる水辺の環境を守り育てることが大切です。荒地西山線の整備に際してピカピカランドの環境保全に配慮した移設が必要と考えられます。

支多々川はかつて、河床を歩くこともできましたが、現在は降りることもできず、河床はコンクリートで風情が無い状況です。人々に親しまれる保全・整備の方向を追求したいです。

【方針】

宝塚市役所・西山小学校・環境関連団体・宝塚ゴルフ倶楽部・関連自治会と協力して、逆瀬川に親しむ取り組みを継続させます。逆瀬川の自然を守る会の清掃活動や宝塚エコネットのホタル飼育の取り組みに協力します。逆瀬川を紹介するマンガやアニメなどの作成を目指します。



逆瀬川と甲山、千種地域の住宅



ピカピカランドでホタルの学習

②花いっぱいのもちづくり・緑の多いまちづくり

【課題】

自治会中心の花壇の取り組みが進んでいます。各地域の花壇のお世話や、公園における緑化事業なども進んでおり、地域に潤いを与えています。野上農園、千種農園という2つの市民農園があり、市民の利用が多くみられます。宝塚神社・平林寺にはどんぐりの木があり、西山小学校裏の通称「どんぐり坂」にもどんぐりの木（クヌギ、コナラなど）があります。お世話をする住民の高齢化も進み、行政を含めた公園・花壇を育てる体制づくりが求められています。

【方針】

自治会中心に実施されている花いっぱいの取り組みを促進します。自治会を中心とした公園や花壇の管理受注を継続し市民農園の維持を促進します。地域に広がるサクラの老朽化に対応して植樹などの育成活動を進めます。市役所や関係機関への支援要望や体制づくりを進めます。



小林駅北側山添公園の花壇

③まちのルールなどの啓発

【課題】

地域では宝南自治会、千種ヶ丘自治会・千種自治会、コモンステージ逆瀬川の3つの区域に地区計画が適用されており、良好な住環境が保たれています。ごみ出しルールについては、カラスや猫対策としてごみケースが設置されることが多くなっています。犬のふん対策もリードに反射板をつけたり、ふんにチョークで印をつけるなどの対策により、マナーの向上は進んでいます。

【方針】

緑の多い良好な住環境を守ることを目指して地区計画の啓発を継続します。ごみ出しルールの徹底とカラスなどの対策を継続します。犬の散歩の際、リードにパトロール中という反射板をつけることなどにより、より一層の防犯効果とマナーの向上を目指します。

④原風景の保全・創造

【課題】

地域には、人々に親しまれる景観として、逆瀬川、そして逆瀬川から見た甲山の風景、緑の多い住宅地、聖天さんや平林寺、宝塚神社といった神社仏閣などがあげられます。西山小学校の校歌には「ポプラ」の文字がありますが、現在、ポプラの木はほとんど無くなっています。

【方針】

まち歩きなどを通じて、西山小学校区における残したい風景を選び、その風景を保全したり、より魅力的にする方向性を追求します。西山小学校のポプラの植樹を検討します。

⑤環境負荷の低減

【課題】

省エネ意識の向上などにより、住宅地における太陽光パネルも増えており、国の補助金政策にあわせて個人で対応することになりますが、促進が望まれます。公共施設についても、環境への配慮の要望をしていく必要があります。

【方針】

マンションの新築などの際に、太陽光パネル、井戸の設置、雨水利用の促進をはかります。LED照明など省エネ機器の促進をはかります。

ウエル西山屋上の太陽光パネル



(4) 文化交流のまちづくり「文化芸術に親しめる機会を維持し、多世代交流・多文化交流を意識した取り組みを進めます。」

①芸術とふれあう交流活動の推進

【課題】

地域には、音楽家が多く居住していることもあり、音楽に親しむ活動があります。コミュニティ西山が主催する、ニューイヤーコンサート、ドリーム西山、にしやま倶楽部のほか、自治会のサロンにおける取り組みなどがあります。また野上通（市道野上通り線）には、仁川学院藤飯治平（ふじいじへい）記念館があり、藤井氏にちなむ絵画が公開されています。芸術に親しむことができる環境をいかしていくことが求められています。

【方針】

音楽を中心に実施されているニューイヤーコンサート、ドリーム西山など、現在の取組を継続させます。そのための次世代の発掘を進めます



ニューイヤーコンサート

②サロンを中心とした交流の場づくり

【課題】

コミュニティ西山は、毎月1回「にしやま倶楽部」というサロンを実施しており、多様な交流の機会となっています。また、北部の拠点である宝会館では宝会館展が毎年開催され、宝梅クラブによるデイサービス・保育所・幼稚園の訪問といった多世代交流もあります。自治会や有志が中心となったふれあい・いきいきサロンの他、宝塚市社会福祉協議会が中心に運営する、「野上の家」、「ぷらっとのがみ（逆瀬川団地で年2回）」などがあります。

【方針】

多様な交流の場づくりをめざします。にしやま倶楽部・宝会館・宝梅クラブの活動を継続します。各地で実施されている、ふれあいサロンなどの活動の継続と周知につとめます。井戸端会議、話し合いの場、ご近所づきあいを進めます。



にしやま倶楽部で逆瀬川地域包括センターのお話を聞く

表：西山小学校における主なサロン(2017年度)

	名称	場所	日時	費用
ふれあい いきいき サロン	ふれあいサロンひばり	逆瀬川団地集会所	第1水・第3火 13:00～15:00	200円
	トークサロン	千種ヶ丘自治会館	年3～5回	無料
	なごやかサロン	宝会館	第2水 13:00～15:00	200円
	手作りチャレンジの会	宝会館	第1・3水 13:00～16:30	100円
	ふれあい四季の会	コモンステージ逆瀬川自治会館	第2木(1・8月は第3木) 10:00～12:00	100円
	ふれあいカフェUR	逆瀬川団地集会所	第2・4土 13:00～15:00	コ-ヒとお菓子代100円
老人会	宝梅クラブ	宝会館など主に宝梅地区の方々に参加されています。		
	逆瀬川ハイツひまわりの会	逆瀬川ハイツ集会所など。主に逆瀬川ハイツの方々に参加されています。		

③多世代交流

【課題】

西山小学校区における交流活動としては、毎年秋に実施される「ふれあい西山まつり」(10月頃)、「わいわいフェスティバル」(3月頃)があります。ふれあいバスツアー(7月頃)も毎年実施されています。また、各自治会が中心となって、クリスマス、宝梅行者山ハイキング、年末パトロール、居場所づくりなどが実施されています。聖天さん、宝塚神社のお祭りも定期的にも実施されています。西山小学校や西山幼稚園においても授業の一環として高齢者や高校生とのふれあいの場づくりが進められています。

これらの取り組みを継続させることと、広く周知し、参加しやすい雰囲気づくりにつなげていくことが大切です。

【方針】

ふれあい西山まつり、わいわいフェスティバルを、各自治会、西山小学校、西山幼稚園、西山小学校PTA、西山幼稚園PTAなどとの協力のもと、コミュニティ西山の主要行事として継続します。地域で実施されているイベントを、地域として応援します。学校園が実施している高齢者や高校生とのふれあいの場づくりを応援します。



ふれあい西山まつりで丸太切り

④多様性の尊重

【課題】

西山地域には、地域の活動に参加していない住民もかなりいることが想定されます。また外国人登録は93名(2019年3月住民基本台帳)となっています。多様性尊重の観点から、学習や交流活動が必要です。また近年話題になっているLGBTや障がい者理解など、様々な立場の方々への理解促進が必要と考えられます。

【方針】

外国ルーツの人など、これまでさまざまな活動に参加することが少なかった住民同士の交流の場づくりを進めます。LGBT・障がい者など、様々な立場の方々との学習・交流活動を進めます。



西山小学校で認知症講座

(5) 地域福祉のまちづくり「助け合いの精神にもとづく要援護者対策・ささえあい、子育て支援、終活に向けた取り組みを進めます。」

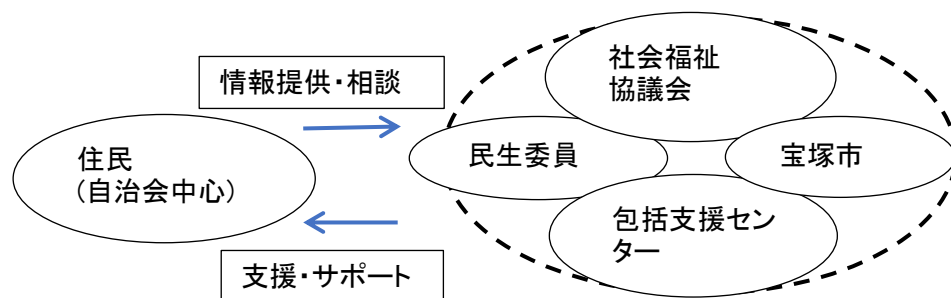
①要援護者対策・ささえあい

【課題】

民生委員・児童委員や自治会を中心として、高齢者宅への訪問活動など、日常的な見守り活動が取り組まれています。災害関連としては、各自治会では毎年要援護者の登録制度が実施されています。一人暮らし高齢者の増加と、近隣とのつながりの希薄化も懸念され、引きこもりの8050問題（80歳代の親が50歳代の子どもを支える）など、新たな課題も生まれています。住民一人一人が、日常のご近所の付き合いを大切にしていく必要があります。

【方針】

あいさつ運動を継続します。民生委員・児童委員、宝塚市社会福祉協議会、逆瀬川地域包括支援センターなどの支援のもと、見守り活動・支え合い活動を継続します。民生委員・児童委員による宝塚生活ガイドブック、安心キット配布などの取り組みを支援します。コープこうべの移動販売など買い物情報の広報に努めます。



宝塚生活ガイドブック



②子育て支援

【課題】

地域の学校園としては、市立西山幼稚園、市立西山小学校、市立宝梅中学校、市立光ガ丘中学校、私立野上幼稚園、私立野上あゆみ保育園、私立小林聖心女子学院があります。人口増に伴い、西山小学校における児童数の増加も見られています。関連する取り組みとして、登下校時見守り、アトム110番、学校園の評議委員会、青少年育成市民会議、出前児童館（野上児童館から毎週月曜日）、放課後遊ぼう会、地域の先生、クラブ活動の支援などがあります。話題に上っているものとして、ボール遊びができる場が少ない、大きな公園が無いなどの指摘の他、地域の子育て世代の居場所づくり、学校やPTA活動における人権教育・福祉教育（例：認知症講座）の周知などがあり、今後とも地域と学校園の連携を維持し、強めていく必要があります。

【方針】

学校園・PTA・自治会との協力で、登下校時の見守りを継続、充実させます。子どもたちの休日・長期休暇の際の居場所づくりをめざします。西山っ子遊ぼう会や就学前施設の周知につとめ、地域と学校が様々な取り組みを情報共有するコミュニティスクールを進めます。人権教育・福祉教育にも地域として取り組むほか、アレルギーについての情報共有や暮らし体験も継続して取り組みます。



出前児童館
(ウエル西山、毎週月曜日午前中)



西山っ子遊ぼう会

③終活にむけた取り組み

【課題】

高齢化が進み、家族の関係も希薄化していることが想定されます。高齢者のみの世帯が増え、空き家も増えています。次世代への橋渡しを意識した情報共有が必要と考えられます。

【方針】

終活ノート作成などにより、住民同士の情報共有に努めます。空き家問題、葬儀店、青年後見人制度、遺産相続、生命保険、個人情報保護などについて、にしやま倶楽部や各自治会などで情報共有をはかります。



社会福祉協議会、逆瀬川地域包括支援センターと話し合うコア会議

(6) 広報活動「広報紙の充実と自治会広報との連携、ポータルサイトの充実をはかります。」

① 広報活動の継続・充実

【課題】

コミュニティ西山の広報紙は年4回発行しており、2019年9月で112号、約5000部を発行し全世帯配布を実施しています。内容の充実を追求していく必要があります。またコミュニティ西山の掲示板や自治会の掲示板などの継続も必要です。2018年度から宝塚NPOセンターの協力のもと、ポータルサイト開設により、運営委員会報告、ニュース掲載などを実施しており（「コミュニティ西山」で検索可能）、活動情報を円滑に見ただけできるよう、その周知と内容の充実が必要です。日常のあいさつは円滑な生活を送るうえで大切であり、住民同士によるあいさつも継続が必要です。

【方針】

次世代への地域活動への参加につながるよう、年4回発行の広報紙を、読みやすく、見やすく、有用な内容であることを念頭において継続します。各自治会で発行している広報紙の紹介を実施します。宝塚市ポータルサイトは定期的なニュース掲載を実施します。住民同士は小学校・幼稚園の登下校時にあいさつをするなど、日常のあいさつに努めます。

広報紙 112号 1面 2019年9月発行



(7) 自治会・PTA・コミュニティ活動「自治会・PTA・コミュニティ活動の連携を維持・強化し、事業所との連携をはかります。」

① 自治会・学校園・PTA 活動との連携

【課題】

西山小学校区には8つの自治会があり、日常的な自治会活動が実施されています。コミュニティ西山の運営委員会では、自治会、民生委員・児童委員、西山小学校・西山幼稚園及び各PTA、宝塚市社会福祉協議会、逆瀬川地域包括支援センターとの連携も進んでいます。日常的な情報共有の場として有効であると思われます。日常的に地域活動に関わっていない方々との交流機会は少ない状況です。

【方針】

コミュニティ西山を自治会、民生委員・児童委員、学校園、PTA、企業・事業所などの日常的な情報共有の場「プラットホーム」として位置づけ、運営委員会をはじめとした話し合いの場を継続します。また、小学



毎月開催される運営委員会（第2水曜日午前中。どなたでも傍聴できます）

校区を対象とした広域的な事業を実施します。地域人材の発掘にも努めます。

②企業・事業所との連携

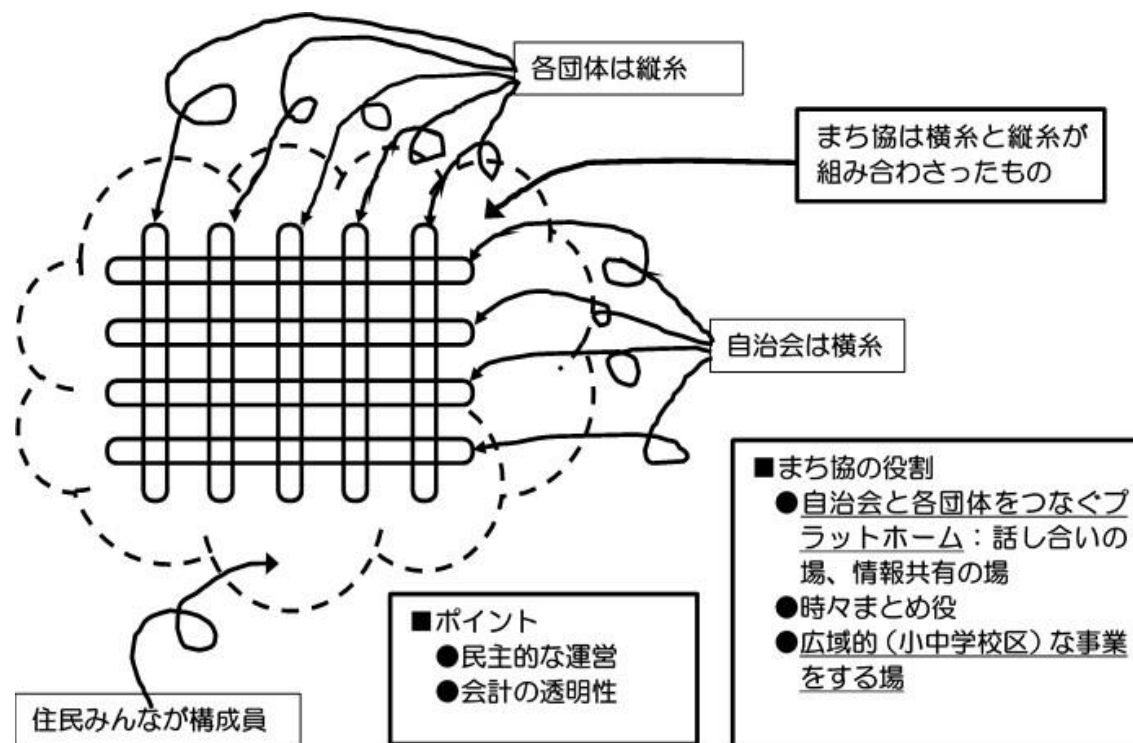
【課題】

西山地域は団地やマンションなどを除き、多くの範囲が都市計画法に基づく「第1種低層住居専用地域」に指定されていることから、事業所の立地は限られています。地域における事業所としては、宝塚ゴルフ倶楽部、地域の東北側に隣接して松田ポンプ製作所(野上2丁目)などがあります。なお、宝南自治会・宝梅自治会などの自治会が、宝塚聖天、宝塚ゴルフ倶楽部、逆瀬川グランダ、サンシティ宝塚、野上児童館と一時的緊急避難所としての協定を結んでいます。

【方針】

企業・事業所との日常的な連携を進めます。そのためコミュニティ西山の運営委員会や、創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会などの話し合いの場に参加していただくことを進めます。

参考：まちづくり協議会（まち協）の位置づけ



【具体的な取り組み】スケジュールと役割分担総括表

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
1 安全・安心														
(1) 防災	ア 防災訓練・避難訓練の充実	○									○		小学校・自治会・コミュニティ協力。餅つきも実施。避難所運営ルール（車利用）ごみステーション単位での避難行動	
	イ ブロック塀対策（危険性周知・撤去・生け垣促進）		○								○		自治会でブロック塀の検査。宝塚市補助制度の周知	
	ウ 火災予防の啓発継続	○									○		自治会中心に取り組まれている	
	エ 地域防災計画の策定検討		○									○	策定作業を通じた啓発の充実、防災セミナー・講座の実施。避難所開設訓練（HUG）	
	オ 一時的緊急避難所の周知継続	○									○		関係自治会中心。宝塚ゴルフ倶楽部など協定を結んでいる施設の住民への周知。逆瀬台小校区と連携	
	カ 要援護者支援・ご近所見守り体制の強化	○										○	ご近所同士のつながり強化。井戸端会議。安否確認登録者への声かけ（避難訓練参加など）	
	キ 障がい者の避難所のあり方検討		○										○	避難訓練に際してのバリアフリーや受け入れ体制の検討など
	ク 備蓄倉庫の点検・周知		○										○	例えば毛布に虫が付かないかなどイメージして実施。食品消費期限確認
	ケ 要援護者と個人情報のあり方検討		○									○		事前の周知と情報共有
コ 土砂災害危険区域の周知	○											○	学習会・広報の継続	
(2) 防犯	ア 西山交番、小林交番、逆瀬川交番との連携		○									○		（交番不在時対策など）
	イ 日常的な声かけの実施・あいさつ運動	○									○			見かけない挙動不審の人に「どちらをお探ですか」と声かけ
	ウ 民生委員・児童委員との協力	○										○		日常的な訪問・声かけ。特殊詐欺対策周知
	エ 防犯パトロールの継続	○									○			自治会中心
	オ 空き家及び空き家対策の情報共有	○											○	サロンとしての活用検討 先進事例・公的支援などの学習
カ 門灯点灯運動	○										○			各家庭で道路も照らすように。センサー式も。
(3) 交通安全	ア 車のスピードを落とす工夫促進	○											○	PTA愛護部と自治会との連携。センターラインを消す対策要望（市道野上通り線、市道聖天通り線）。ハンプの検討など。

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年					
	イ 生活道路ではスピードを出さない	○								○			同上
	ウ 植木や生垣をはみ出さない手入れ	○								○			空き家を含む住宅の樹木や生け垣がはみ出さないようお願い
	エ 交差点・バス停の安全対策要望	○								○			白瀬川交差点、逆瀬川沿い野上バス停、西山橋バス停
	オ カーブミラー・ガードレール要望	○								○			設置・改良(山添公園からの市道233線など)
	カ 荒地西山線の安全対策		○								○		住民・市役所・警察で確認
	キ 踏切の改良・拡幅要望	○									○		逆瀬川駅、小林駅要望継続
	ク 市道野上通り線バス停新設	○				○				○			野上2丁目3丁目住民意向集約
	ケ 路上駐車対策	○									○		ネバーランド野上など
	コ 交通安全(マナー)教室	○								○			おまつり。まち歩きで子どもが自分で気づくプログラムなど。
	サ 登下校見守り継続	○								○			安心安全部会・PTA・自治会で実施している見守りの継続
	シ 小林駅周辺のあり方の検討	○									○		良元小、光明小、末成小、仁川小の各校区と連携
2 健康推進													
(1) スポーツ・健康	ア スポーツクラブ21西山の活動継続	○								○			健康推進部会中心に実施している遊歩野会・グラウンドゴルフ・ニュースポーツなど
	イ 出前運動講座・簡単ストレッチ・百歳体操・ラジオ体操の継続	○								○			ラジオ体操：コモンステージ逆瀬川・逆瀬川団地・千種自治会・宝梅クラブ・逆瀬川ハイツなどで実施
	ウ 小学校のクラブ活動の支援継続	○									○		野球、サッカー、スナッグゴルフなど
	エ 病院情報・救急情報・福祉サービス情報の広報	○									○		社会福祉協議会・包括支援センター連携 宝塚生活ガイドブックの周知
3 環境保全													
(1) 逆瀬川などに親しむ取り組み	ア 逆瀬川に親しむ取り組みの継続	○									○		オオキンケイギク駆除作戦・ホタル育成支援・逆瀬川の自然を守る会の清掃協力・観察会。英語の授業に逆瀬川を加える。逆瀬川を紹介するマンガやアニメなどの作成検討。逆瀬台小、一小校区と連携
	イ ミヤマアカネを学ぶ活動継続	○									○		小学校の英語授業の可能性・フレミラ環境学習支援・ミヤマアカネ祭り復活の検討
	ウ ピカピカランドの取り組み支援	○									○		宝塚エコネットに協力

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考
				20年	第6次総計				① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政	
					21年	22年	23年	24年					
	エ 荒地西山線整備に伴うピカピカランドの自然再生		○								○		荒地西山線の整備に当たっての自然再生
	オ 家庭排水を汚さない配慮	○						○					石けん利用・油を流さない・シャワーを控える
	カ 支多々川の魅力向上		○						○				花植え活動継続。親しめる方向の模索。湧き水の保全。一小校区との連携。川に下りることができる要望
(2) 花いっぱい のまち づくり・緑 の多いま ちづくり	ア 公園や花壇の管理継続・活用	○							○				自治会・有志による花植え(野上が丘公園、山添公園、逆瀬川団地)。防災訓練の場として活用。担い手確保、市役所関係機関への支援要望、話し合いの場づくり
	イ 農園の環境維持	○							○				野上農園、千種農園所有者へ保全要望
	ウ 桜の復活・日陰の復活	○							○				桜道(市道388号線)、千種水道道路(市道神戸水道2号線)沿い桜の植え替え要望、野上3丁目第3公園日陰復活
	エ オープンガーデン促進		○						○				取り組みの紹介、開発者に緑地を外部に向けてもらう要望
(3) まちのル ールなど の啓発	ア 地区計画の周知	○							○				千種地区・野上地区・コモンステージ逆瀬川地区において明示看板の継続
	イ ごみ出しルールの徹底	○							○				ご近所で声かけ、資源ごみ出しの徹底
	ウ ペットのマナー対策継続	○							○				ふんの周りにチョークで印。リードにパトロール中明示。犬や猫を飼うことができないならエサをやらない。去勢手術の促進
(4) 原風景の 保全・創 造	ア まち歩きでお宝探し	○							○				まち歩きをして写真や絵画のコンテスト。宝梅中学校外側に宝の塚の解説版設置
	イ 道のシンボルづくり		○						○				道に名前をつけたり建物の壁に絵を描く。宝梅の通称「地獄坂」(市道北畑ハクサリ線)を「聖天坂」「宝梅坂」など改名検討
	ウ 西山小ポプラ復活の検討		○						○				校歌に歌われるポプラの植樹の検討
(5) 環境負 荷の軽減	ア 太陽光パネルの設置促進	○									○		マンション・個人住宅
	イ 井戸の設置促進	○									○		マンション・公共施設
	ウ 雨水利用の促進	○							○				宝塚市の雨水利用補助金の広報

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21年	22年	23年	24年	25年					
4 文化交流のまちづくり														
(1) 芸術にふれあう交流活動の推進	ア ニューイヤーコンサートの継続	○								○			毎年1月実施。駅への掲示など周知の強化。中学校吹奏楽部・高校生バンド参加検討	
	イ ドリーム西山の継続	○								○			毎月1回ウエル西山で実施(歌う会)	
	ウ 様々な芸術活動の支援	○								○			・藤飯治平記念館の広報 ・中学校吹奏楽部活動の広報 ・高校生のボランティア活動の支援	
(2) サロンを中心とした交流の場づくり	ア ふれあい・いきいきサロンの継続と周知	○									○		野上の家、ぷらっと野上、ひまわりの会、なごやかサロンなど	
	イ 西山倶楽部・宝会館活動・宝梅クラブ活動の継続	○								○			西山倶楽部：毎月第3木曜日、文化・学習活動・アクセサリづくり。宝会館：バザー・コンサート。宝梅クラブ：デイサービスセンター保育園・幼稚園訪問。	
	ウ 新たなサロン・居場所づくりの支援や相談		○								○		男性の居場所、居酒屋、食を通じた活動、気軽に集える場。コミュニティビジネス検討。犬のクラブ(犬好きな人のサロンの広報)	
	エ リスク・責任・保険の検討	○								○			活動にあたっての保険のあり方など	
	オ コミュニティビジネスの検討		○									○	バザー、高齢者生活支援など	
(3) 多世代交流	ア ふれあい西山まつりの継続	○								○			毎年10月頃実施	
	イ わいわいフェスティバルの継続	○								○			毎年3月実施	
	ウ 行者山登山と交流会の継続	○								○			宝梅自治会中心の取組み	
	エ 聖天さん、宝塚神社などお祭り支援	○								○			広報活動など	
	オ 歴史を学ぶ取組み	○								○			宝の塚、記憶に残そう昭和の西山、逆瀬川の歴史など	
(4) 多様性の尊重	ア 多様な人同士の交流の場づくり		○								○		外国ルーツの人や新規住民などの交流の場。料理、生活様式、文化、音楽などの交流。地域内のお店やサロンの紹介など	
	イ 多様性の理解	○									○		様々な立場の人や障がいの理解について学習や交流	
	ウ 人権学習	○									○		LGBTなどの理解促進、PTA学習会へ参加、幼児期の人権学習など	

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
				20 年	21 年	22 年	23 年	24 年						25 年
5 地域福祉のまちづくり														
(1) 要援護者 支援	ア	見守り活動・支え合い活動の継続	○								○			自治会・民生委員・社協・逆瀬川地域包括支援センター協力。見守り啓発・サービスの紹介
	イ	あいさつ運動の継続・井戸端会議の促進	○								○			隣近所・地域同士で顔見知りになり、声をかけあう。
	ウ	病院情報・救急情報・福祉サービス情報の広報(再掲)		○								○		社会福祉協議会・包括支援センター連携宝塚生活ガイドブックの周知
	エ	民生委員・児童委員と住民の協力体制の充実		○								○		運営委員会・創造会議の継続、安心キット情報の周知
	オ	コープこうべ移動販売・買い物バスの広報・利用促進		○								○		UR逆瀬川団地、白瀬川沿いグリーンマンション・アベルデなど
(2) 子育て支援	ア	登下校見守り継続(再掲)	○								○			学校・PTA・自治会との協力・広報支援
	イ	西山っ子遊ぼう会の支援		○							○			見守り・広報支援・情報共有、学年を超えた交流の支援
	ウ	各就学前施設の子育て支援情報の周知	○									○		社会福祉協議会・逆瀬川地域包括支援センター、こども食堂などの情報共有
	エ	子どもたちの居場所づくり		○								○		休日・長期休暇など気軽に行ける居場所検討
	オ	野上児童館との連携強化	○									○		出前児童館(ウエル西山)の周知(休日開放の可能性検討・行政への支援拡充要望)
	カ	夏休みこども教室の継続・充実	○								○			宝会館で実施中。千種地域での可能性追求
	キ	アトム110番の確認と充実	○		○							○		現状把握・今後のあり方確認
	ク	コミュニティスクール実施に向けた情報共有	○		○	○							○	関係者の情報共有。子ども・高校生・大学生の計画への参加
	ケ	アレルギーについて情報共有と対応		○									○	情報共有と周知
	コ	昔の暮らし体験・遊び体験支援	○										○	火起こし・洗濯板・鉛筆削り、お手玉・あやとり・おはじき・けん玉など
(3) 終活に向けた取り組み	ア	終活講座・エンディングノート作成支援		○								○		専門家相談・病氣・死因の学習会など
	イ	墓じまい・お寺・葬儀店・遺産相続など情報共有		○								○		西山倶楽部などで学習活動
	ウ	空き家及び空き家対策の情報共有(再掲)		○									○	サロンとしての活用可能性など

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政	④ 主に 行政		
				20 年	21 年	22 年	23 年	24 年						25 年
6 広報活動														
(1) 広報活動の継続・充実	ア	広報紙の発行継続	○							○				年4回発行。読んでもらう方策の検討
	イ	ポータルサイト情報発信の充実	○								○			安全安心、健康推進、環境保全、文化交流、地域福祉など分野別。定期的な発信
	ウ	自治会活動の広報の充実	○							○				行者山登山、千種ヶ丘自治会サロン、方南自治会防災訓練などの発信
	エ	知り合いを増やす活動	○							○				登下校時・一斉清掃時のあいさつ、井戸端会議の継続など
7コミュニティ活動														
(1)自治会・PTA・個人との連携	ア	運営委員会の継続	○							○				毎月第2水曜日午前中
	イ	地域人材の発掘・次世代リーダーの育成方策検討	○							○				自治会に入らない人との情報共有・退職された方々を自治会に招く。人材バンク、活動したい人を集める
	ウ	PTAとコミュニティ、自治会との連携強化	○							○				運営委員会・創造会議の継続。コミュニティスクールの検討
(2)企業・事業所との連携	ア	企業・事業所の災害時一時的緊急避難所として役割確認・情報共有	○								○			一時的緊急避難所における避難訓練継続
	イ	福祉事業所との連携	○								○			デイサービスセンター結いなどの一時的緊急避難所としての役割確認・情報共有。サンシティ宝塚との連携(敷地北側へ通路の確保など)

【あしがき】

資料—1 西山まちづくり計画策定委員会 名簿

敬称略、順不同 2019(令和1)年12月現在

宝南自治会・・・会長 竹谷 泰二
 宝梅自治会・・・会長 田中 肇
 千種自治会・・・会長 小島 博
 (コミュニティ西山評議委員長・文化交流部会副委員長)
 逆瀬川ハイツ自治会・・・会長 渡部 正久
 パレ逆瀬川マスターズプレイス自治会・・・会長 岩田 純一
 逆瀬川団地自治会・・・会長 山口 英次
 (コミュニティ西山 副会長)
 コモンステージ逆瀬川自治会・・・会長 大木 篤
 宝南自治会・・・藤崎 洋子
 千種ヶ丘自治会・・・副会長 新藤 充宏
 (コミュニティ西山 健康推進部会副委員長)
 宝梅自治会・・・副会長 山脇 郁廣
 宝梅自治会・・・副会長 伊藤 道德
 逆瀬川ハイツ自治会・・・藤原 朝二
 逆瀬川ハイツ自治会・・・安江 英雄
 (コミュニティ西山 環境保全部会副委員長)
 パレ逆瀬川マスターズプレイス自治会・・・筒井 道子
 逆瀬川団地自治会・・・西内 義昭
 逆瀬川団地自治会・・・山本 幸男
 コモンステージ逆瀬川自治会・・・加納 孝俊
 コモンステージ逆瀬川自治会・・・守田 邦彦
 青少年補導委員・・・川島 淳子
 青少年補導委員・・・山口 正秋
 民生委員・児童委員・・・久保田 郁余
 民生委員・児童委員・・・北口 雅子
 民生委員・児童委員・・・武内 貴和
 人権啓発推進委員会・・・委員長 高岡 義雲
 市立西山小学校・・・校長 和田 りか
 市立西山幼稚園・・・園長 三ヶ尻 桂子
 市立西山小学校PTA・・・会長 上見 悟志

市立西山小学校PTA・・・副会長 沖田 則子
 市立西山小学校PTA・・・副会長 上川 浩子
 宝塚NPOセンター・・・中山 光子
 コミュニティ西山・・・久保田 洋一
 (会長・環境保全部会委員長)
 コミュニティ西山・・・大崎 裕子
 (副会長・文化交流部会委員長)
 コミュニティ西山・・・松岡 左知子
 (運営委員長・安心安全部会委員長)
 コミュニティ西山・・・中谷 真里
 (運営副委員長・安心安全部会副委員長)
 コミュニティ西山・・・生嶋 恭子 (会計)
 コミュニティ西山・・・梅山 久美子 (庶務)
 コミュニティ西山・・・宮根 恵子 (庶務)
 コミュニティ西山・・・阪本 晴美
 (広報部会委員長)
 コミュニティ西山・・・林 猛男
 (健康推進部会委員長)
 コミュニティ西山・・・神田 尚彦
 コミュニティ西山・・・和田 寛
 コミュニティ西山・・・福田 亘
 (市立西山小学校PTA元会長)
 コミュニティ西山・・・近藤 恵子
 (市立西山小学校PTA元副会長)
 コミュニティ西山・・・高橋 真弓
 (市立西山小学校PTA元副会長)
 宝塚市社会福祉協議会・・・大関 可奈子
 逆瀬川地域包括支援センター・・・森川 亜矢子
 宝塚市市民協働推進課・・・藤田 勝治
 宝塚市都市安全部建設室・・・室長 池澤 伸夫(2019年度)
 宝塚市都市安全部建設室・・・元室長 金岡 厚(2018年度)

資料-2. 会議の記録(広報紙にしやまの報告事項含む)

- 2017年12月13日(水) コミュニティ西山第7回運営委員会にてまちづくり計画見直しの予定報告
- 2018年1月10日(水) コミュニティ西山第8回運営委員会にて、まちづくり計画策定メンバーについて打診
- 2018年2月15日 広報紙にしやま106号(まちづくり計画策定開始の広報)
- 2018年6月10日 広報紙にしやま107号(まちづくり計画策定委員の募集)
- 2018年6月24日(日) 第1回策定委員会(計画策定の進め方など。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)
- 2018年7月15日(日) まちづくり計画見直しにあたっての説明会
- 2018年7月29日(日) 第2回策定委員会(まちの現状の把握、まちの将来像の検討など)
- 2018年9月10日 広報紙にしやま108号(まちづくり計画の策定経過報告・まち歩きの案内)
- 2018年9月23日(日) 第3回策定委員会(まちの現状と課題など)
- 2018年10月13日(土) まち歩き(野上地域)
- 2018年10月28日(日) まち歩き(宝梅地域)
- 2018年11月10日(土) まち歩き(千種地域)
- 2018年11月25日(日) 第4回策定委員会(まちの現状と課題など。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)
- 2019年1月27日(日) 第5回策定委員会(まち歩きの結果報告、計画の全体構成、計画に盛り込む内容など)
- 2019年2月15日 広報紙にしやま110号(アンケート結果報告など)
- 2019年2月24日(日) 第6回策定委員会(文化交流・地域福祉など。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)
- 2019年4月28日(日) 第7回策定委員会(目次案、総会への報告事項など)
- 2019年5月22日(水) コミュニティ西山総会にてまちづくり計画策定の経過報告
- 2019年6月10日 広報紙にしやま111号(総会開催報告とまちづくり計画の策定経過報告)
- 2019年6月23日(日) 第8回策定委員会(まちづくり計画に盛り込む内容など。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)
- 2019年9月11日(水) 経過報告を宝塚市に提出(10月9日まち協代表者会議ワークショップで共有)
- 2019年9月22日(日) 第9回策定委員会(全体構成について)
- 2019年11月24日(日) 第10回策定委員会(全体構成について。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)
- 2020年2月15日 広報紙にしやま112号(まちづくり計画の策定経過報告)
- 2020年2月23日(日) 第11回策定委員会(全体構成について。創造会議・ネットワーク会議・学校園安全対策委員会と共催)